



福岡労働局長が、長時間労働の削減・働き方改革に取り組む

「前田建設工業株式会社 天神ビジネスセンター新築工事現場」  
(ベストプラクティス企業) を訪問しました



11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、藤枝労働局長が長時間労働の削減等をはじめとする「働き方改革」に資する取組を積極的に推進している企業を訪問しました。

- 訪問日時 令和2年11月2日(月) 13:30~15:00
- 訪問企業 前田建設工業(株)  
天神ビジネスセンター新築工事  
福岡市中央区天神1丁目10-17、-24、-22

## ★ 天神ビジネスセンター新築工事現場 の取組 ★

～ 完全週休2日制の導入、業務改善 ( ICTの導入等 )、女性活躍など ～

問題意識

建設現場部門⇒工期に追われ、業務が集中し長時間労働になっていた。  
男社会のイメージが長年定着し、女性が働きにくい職場となっていた。

取組

「くるみん」「えるぼし」を取得し女性が働きやすい企業としてのイメージのアップを図る。現場トイレの改善に取組。工程を徹底管理し、施主様に「もの決め期限」を伝え工程の遅れを起こさない取組。

効果

### <ICT化推進への取組>

- タッチパネルディスプレイの採用

### <女性の活躍への取組>

- 女性専用更衣室、休憩所、トイレの設置
- けんせつ小町パトロールの取組

### <働き方改革への取組>

- 完全週休2日制の導入
- 工程の徹底管理、もの決め期限を導入
- 有給休暇をみんなの拍手で承認
- チャイム導入で時間管理

### <コロナ対策の取組>

- 検温ゲートの設置、毎朝検温、消毒ジェルの設置、コロナ対策10か条の制定
- WEB会議の導入、鉄骨製品の検査をWEB検査で実施

### <労務面>

- 従業員のモチベーションの向上
- 労働生産性の向上による労働時間の効率化
- 優秀な人材の確保
- 女性技術員の増加
- 完全週休2日制の協力会社への波及
- 安全、衛生面の向上で働きやすい職場づくり

### <経営面>

- 企業イメージの向上
- 業務の効率化、生産性の向上
- 人材育成の継承
- 経費削減

# 前田建設工業株式会社 天神ビジネスセンター新築工事 統括所長 塚本修史氏との意見交換

工事名称 : 天神ビジネスセンター新築工事  
発注者 : 福岡地所株式会社  
設計者 : 前田建設工業株式会社 一級建築士事務所  
監理者 : 前田建設工業株式会社 一級建築士事務所  
工事場所 : 福岡県福岡市中央区天神1丁目10-17、-24、-22  
工期 : 【解体】2017年6月1日～2018年12月31日(19ヶ月)  
【新築】2019年1月1日～2021年9月30日(33ヶ月)  
敷地面積 : 3,917.18㎡  
建築面積 : 3,234.55㎡ (建ぺい率79.56%)  
延床面積 : 61,124.68㎡ (容積率1398.99%)  
構造・規模 : S造 一部RC造 地上19階、地下2階、塔屋2階  
(免震構造、免震層地下1階)  
用途 : 事務所、店舗  
地区・地域 : 都市計画区域(市街化区域)  
防火地域 耐火建築物  
軒高 : 88.60m (最高高さ89.56m)  
掘削深度 : GL-10.90m

## ●建設現場で長時間労働の削減に取り組んだきっかけ

- ✓ 「まずは魅力ある建設業界にしたい」というのが1番です。それは、若い人が入ってきやすい環境づくりが必要と考えているからです。現在建設業界は、若い人が少なくなってきており、職人や現場を管理する我々も同じです。だから、この現場では、できる限りIT化を進めたり、いろんな知恵を出し「もの決め工程」をきっちり行い、仕事を合理的に進め、4週8休をできるところまでやってみようと思い取り組んでおり、現在まで継続できています。
- ✓ 建設現場の「働き方改革」の推進には、現場トップの意識改革とお客様の理解と協力が肝要だと認識しています。



## ●具体的な取組内容

- ✓ 施主様に「週休2日制を採用するから、工期を延ばしてほしい」ではなく、「工期は守るから週休2日制を採ります」と宣言させてもらった。ものづくり工程に重きを置き、協力会社からも協力と理解を得た。
- ✓ 施主様に説明する総合工程表と同じタイミングで協力会社に何を何時までに作ってもらうかを事前に詳細に決め期限を示しておくことが一番大切である。それぞれの期限ごとに作図したり、微調整を行ったりしていくので、「もの決め期限」を守らなければ4週8休は絶対実現することはできないと考えている。
- ✓ この決めるべき時に決める、これをしっかり守り、お客様に理解してもらうことが最も大切である。これをおろそかにすると、無駄な残業や24時間体制になったり、労働時間が長くなる要因となる。



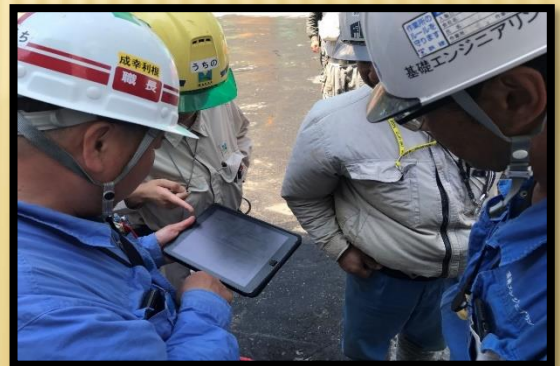
### 音が鳴る時間帯

- 07:40 職員朝礼
- 15:00 終礼
- 17:00 勤務時間終了
- 19:00 残業最終目標時間

チャイム導入で、作業のメリハリがつき、脱残業に貢献！

## ●業務改善について

- ✓ ハード面では、PC化、ユニット化など単純化できるものはできる限り取り組んでいる。
- ✓ ソフト面では、ICT化に多く取り組み、職長が使える時間を有効にするため職長との打ち合わせに携帯・スマホ・iPadを利用して行い、打ち合わせの効率化を行っている。スマホ・iPadには、作業内容、計画書を入力してもらい、有効に使用しており、大きく効率化に役立っている。
- ✓ 今まで毎日どこかの現地に行き製品検査を行っていたがウェブ検査に変えて実施し、移動時間が削減でき、他の仕事ができるようになっており、時間の有効活用ができています。
- ✓ ICT化も最初はみんな戸惑いながらやっていたが、今は慣れてみんな使っており、やれば案外できるものだと感じている。ICT化導入について、使えるものは継続し、使えないものは辞め選別しながらやっている。



## ●女性活躍の取組について

- ✓ 本社では、「えるぼし」・「くるみん」を取っており、女性活躍に力を入れて取り組んでいます。最近はその効果が非常に上がっていると思っています。特に女性インターンシップが年々増加していること及び女性の技術者が増えていることは、その効果が表れているものであり、建設業界も女性が働きやすくなっているという証だと思う。
- ✓ 一番最初に取り組んだのが建設現場のトイレが汚いというイメージを払拭するため、前田建設工業(株)九州支店所轄のトイレをすべて綺麗にする事に取り組みました。現在は、現場作業員さんが気持ちよく仕事ができる環境づくりに繋げ、この取り組みが、他の現場にも広がって来ております。



## ●建設業完全週休2日制導入の取組のヒント

- ✓ 施主様に説明する総合工程表と同じタイミングで協力会社に何を何時までに作ってもらうかを事前に詳細に決め期限を示しておくことが一番大切である。
- ✓ 施主様に決定期限を伝え、理解いただくことで、もの決め遅れによる、現場の手戻りや手直しをなくし、現場の無駄な作業をなくす。
- ✓ 職場の休みやすい雰囲気作りに取り組む。



**有休取得を拍手で承認！！**終礼時に、翌日のシフト確認を行い、有休取得報告があった際には、**全員で拍手！**拍手で有休取得を承認します。そうすることで、有休や代休を取りやすい雰囲気を作る。